

〔事業者の理念・方針、期待する職員像：小規模保育事業〕

1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	1) 子どもの人権や主体性の尊重 2) 子どもの個性を認め、自分を発揮できる子ども 3) いっぱい遊ぶ、好きな遊びをとことんやってみよう！（興味の力） 4) 保護者が子どもの成長に気付き子育ての喜びを感じられる（保護者支援） 5) 研修への積極的な参加、自己評価を踏まえ専門性の向上と保育実践の改善（保育者の資質向上）
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	（1）職員に求めている人材像や役割
	・乳幼児に直接かかわる保育者としての人間性を常に目指す。 ・子どもと一緒にいることで、自分自身も成長していける保育者。 ・保護者が安心して子どもを預けられるよう接遇に気を配れる保育者。 ・保護者の気持ちに寄り添えるように傾聴する姿勢を持てる保育者。
	（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）
	・子どもの最善の利益を守るためには保護者支援が不可欠であるとの視点が持てる。 ・保護者支援は保護者の様々なバックグラウンドを理解し自分の経験や母親像に固執せずに広い視野から行える。 ・保育の実践において常に学び改善しようとの意欲がある。 ・人間形成の大切な乳幼児期にかかわることを自覚しどこまでも暖かなかわりが、子ども・保護者・同僚に出来る。それが子どもを健やかに育む空間、保育園の空気を作ることを理解し実践できる。

〔利用者調査：小規模保育事業〕

調査対象	10月1日現在、保育園を利用している全世帯を対象に調査を実施しました。在園児は18名で、兄弟姉妹の居る世帯は1世帯として扱い、一番年齢の低いお子さんを対象として回答してもらいました。		
調査方法	アンケート調査は無記名方式、配付は事業所を通じて保護者へ手渡し、回収は密封して園に設置した回収箱に投函してもらい、取りまとめました。調査結果は選択回答だけでなく、記述式の回答についても匿名性に配慮してまとめ、保育園に報告しました。		
	利用者総数	18	
	利用者家族総数（世帯）	18	
	共通評価項目による調査対象者数	18	
	共通評価項目による調査の有効回答者数	15	
	利用者総数に対する回答者割合（％）	83.3	

利用者調査全体のコメント

総合的な感想では、「大変満足」11名、「満足」3名、「どちらともいえない」1名であり、利用者の93%の方が高い満足を得ている。毎日の保育サービスにおける「子どもの心身の発達」、「子どもの興味や関心」、「園における食事・おやつ」、「自然や社会と関わる機会」、「職員との信頼関係」、安心・快適性における「清潔で整理された空間」、「職員の接遇・態度」、「病気やけがをした際の職員の対応」、「子ども同士のいさかいやいじめ等の職員の対応」および利用者個人の尊重における「子どもの気持ちを尊重した対応」、「プライバシーへの配慮」、「保育内容に関する説明」、不満・要望への対応における「職員の対応」でそれぞれ85～100%と高い満足度がうかがえます。自由意見では、「ステラ中央本町に入れて本当に良かったと思います」、「公園へよく連れて行っているのがありがたい」、「どの先生方も温かく見守ってくださり安心してお願いできるので、とても助けられています」、「日常の様子を細かくノートにまとめてくれたり、お迎えの時に伝えてくれるので、保育園での様子をしっかりと知ることができます」など園に対する感謝の声が寄せられています。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	15	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「分け隔てなく一人一人に寄り添ってくださいます」などの声がありました。				

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	15	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。特に意見はありませんでした。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	15	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「フルーツが出ると帰宅してから喜んでお話してくれます」、「栄養バランスがとられている。おかげさまで好き嫌いもないのでありがたいです」、「大変配慮してくださっています」などの声がありました。				
4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	15	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「どんぐりを持って帰ってきたり楽しそうに話しています」、「なるべく毎日外へ出て活動しているのでありがたい」、「天気の良い日は毎日お散歩に行ってくれるので、子どもの体力もつき、部屋でも工夫した遊びをしてくれるので、とても助かります」などの声がありました。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	9	4	0	2
60%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「7:30～18:30が園自体の開園時間なので仕方がないと思います。でも、朝1分前でも預かってくれないのは仕方がないことでしょうか」、「そのような事態がないため、わかりません」、「相談したことがありません」などの声がありました。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	15	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「防犯カメラ、カギが徹底されているので安心です」などの声がありました。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	9	5	1	0
60%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「平日に行われると親族が来れないので少し残念です」、「すべての家族に平等とはなかなか難しいかと思います」などの声がありました。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	13	2	0	0
87%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「大変親身です」、「どの先生も親身になって聞いてくれるので、とても話しやすいです」、「保育士によります」などの声がありました。				

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	14	1	0	0
93%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「清潔だと思いますが、たまに入ると少しにおいがする時があるので、少し窓を開けてほしいかなと思います」などの声がありました。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	14	1	0	0
93%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「人によります、嫌なことを言う人もいます」				
11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	13	1	0	1
87%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「薬をぬってくれたり、冷却シートを貼ってくれたりするので助かります」、「お茶をにごさず、きちんと伝えてくださいます」などの声がありました。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	13	1	0	1
87%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「自分の子どもがやった時もやられた時も、きちんと教えてくれるので助かっています」、「まだ直面していないので何とも言えません」などの声がありました。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	15	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「本当に大事に育てていただいているのを感じられる先生ばかりです」などの声がありました。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	14	1	0	0
93%の方が「はい」と回答しています。特に意見はありませんでした。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	15	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。特に意見はありませんでした。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	13	2	0	0
87%の方が「はい」と回答しています。特に意見はありませんでした。				

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	9	1	1	4
60%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「そのようなことがないためわかりません」などの声がありました。				

〔組織マネジメント：小規模保育事業〕

Ⅰ 組織マネジメント項目（カテゴリー１～５、７）

No	共通評価項目		
1	カテゴリー 1		
	リーダーシップと意思決定		
	サブカテゴリー 1 (1 - 1)		
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	7 / 7
	評価項目 1		
	事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）を周知している		評点（〇〇）
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	評価項目 2		
	経営層（運営管理者含む）は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事務所をリードしている		評点（〇〇）
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	○非該当
	評価項目 3		
	重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		評点（〇〇〇）
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当
	カテゴリー 1 の講評		
	園の保育理念等について、職員および保護者の理解が深まるよう努めています		
	職員は、園の保育理念等について入職時研修にて理解を深めるほか、園長との個人面談等で再確認したり、園内研修時にも確認するよう努めています。園の保育理念等は、パンフレット、入園のしおり、重要事項説明書に記載され、保護者との入園時説明会や個別面談で配付し説明しています。また常に保護者の目に触れるよう園内の玄関にも掲示し、4月の園だよりでは園の保育目標を記載しています。入園のしおりでは「園長メッセージ」や園が大切にしていること等について保護者へ発信しており、職員および保護者の理解が深まるよう努めています。		
	園が目指していることの実現に向けて、自らの役割と責任等、職員に伝えています		
	職務分担は職員分掌表や役割分担表に明示され、これら職務は年度初めの職員会議の際、職員一人ひとり確認しています。園長は、園が目指していることの実現に向けて自らの役割と責任等、年間保育計画や月案の検討の際に伝えてい		

	す。また各職員がそれぞれ責任をもって業務にあたることが大切と考え、日々の保育や職員面談を通じ、職員それぞれの職務が果たせるよう努めるとともに、主任や各リーダーにはリーダーシップが発揮できるようにしています。園長と職員の役割を分担しながら、さらにチーム力を発揮できるよう今後のさらなる活動を期待します。																							
	<u>重要な案件は園長会で検討し、職員と保護者に決定事項を周知しています</u> 重要な案件は、設置法人の系列保育園の園長会で検討し、検討結果を園長が職員会議にて進捗状況、決定経緯も含めて報告、周知しています。入園のしおりの改訂、アレルギーのある子どもの献立のほか、園内の設備追加等について検討がなされていました。保護者には、決定事項の経緯や変更内容もふまえ、直接お伝えするとともに文書配付や掲示を通じて周知し、場合によっては個人面談でも伝えています。しかし職員自己評価における「重要な意思決定に関する職員への周知」について十分ではありませんでした。今後の取り組みに期待します。																							
2	カテゴリー 2																							
	事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行																							
	サブカテゴリー 1 (2 - 1)																							
	事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	サブカテゴリー-毎の 標準項目実施状況	6 / 6																					
	評価項目 1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している 評点 (○○○○○○)																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>4. 福祉事業全体の動向 (行政や業界などの動き) について情報を収集し、課題やニーズを把握している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>5. 事業所の経営状況を把握・検討している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している</td><td>○非該当</td></tr> </tbody> </table>	評価	標準項目		●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当	●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当	●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当	●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向 (行政や業界などの動き) について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当	●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当	●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当		
評価	標準項目																							
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当																						
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当																						
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当																						
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向 (行政や業界などの動き) について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当																						
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当																						
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当																						
	サブカテゴリー 2 (2 - 2)																							
	実践的な計画策定に取り組んでいる	サブカテゴリー-毎の 標準項目実施状況	5 / 5																					
	評価項目 1 事業所が目指していること (理念・ビジョン、基本方針など) の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している 評点 (○○○)																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 課題をふまえ、事業所が目指していること (理念・ビジョン、基本方針など) の実現に向けた中・長期計画を策定している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている</td><td>○非該当</td></tr> </tbody> </table>	評価	標準項目		●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること (理念・ビジョン、基本方針など) の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当	●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当	●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当											
評価	標準項目																							
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること (理念・ビジョン、基本方針など) の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当																						
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当																						
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当																						
	評価項目 2 着実な計画の実行に取り組んでいる 評点 (○○)																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 事業所が目指していること (理念・ビジョン、基本方針など) の実現に向けた、計画の推進方法 (体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し (半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら</td><td>○非該当</td></tr> </tbody> </table>	評価	標準項目		●あり ○なし	1. 事業所が目指していること (理念・ビジョン、基本方針など) の実現に向けた、計画の推進方法 (体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当	●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し (半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら	○非該当														
評価	標準項目																							
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること (理念・ビジョン、基本方針など) の実現に向けた、計画の推進方法 (体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当																						
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し (半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら	○非該当																						

	取り組んでいる		
	カテゴリー 2 の講評		
	<u>保護者アンケートや個人面談などを通じて、園への要望を把握しています</u> 保護者が参加する行事（夏祭りや運動会）後にアンケートを実施して保護者の意向を把握し、次年度の計画に活かすようにしています。今年度10月、平日金曜日に親子運動会を中央本町地域学習センターの体育館で実施しましたが、土曜日開催を望む保護者からの声がありました。施設予約が取れず平日開催になってしまいましたが、次年度以降、そのような声を活かせるよう対応を検討しています。また年度末に実施の園評価のアンケートや保護者との個人面談で意向について情報を収集し、ニーズ把握に努めています。		
	<u>地域の福祉の現状や保育動向等について情報収集し、職員会議などで周知しています</u> 地域の福祉の現状や保育業界の動向等について、小規模事業者説明会や子育てネットワーク連絡会、足立区要保護児童対策地域協議会などへの参加を通じ、情報収集しニーズを把握しています。園の経営状況等に関しては、設置法人本部も参加する園長会で報告があるほか、毎年5月頃に詳細説明があり職員会議等を通じて園長から周知するとともに資料回覧しています。近年、近隣の保育園が増えている中、子どもたちが散歩で訪れる公園で走り回り遊ぶことが難しい状況もあったり課題となっていますが、区へ要望を出しつつ連携を深めていきたいと考えています。		
	<u>園の中・長期計画と単年度計画の実行計画がさらに連動していくことを期待します</u> 園の中・長期計画として、「ステラ中央本町中期・長期事業計画（平成30年から平成34年）」が策定され、発達支援児の安定した受け入れや保育の質の向上に向けた保育士の体制確保、および保育実践を中心に掲げ、作成しています。単年度計画には、その中・長期計画に関する記述がみられるものの、中・長期計画からつながる具体的な目標や行動計画を定めた単年度計画の策定が十分なされていない状況にあります。中・長期計画の内容から単年度（1年間）の実行計画を策定し、進捗状況を確認しながら継続的に取り組まれることを期待します。		
3	カテゴリー 3		
	経営における社会的責任		
	サブカテゴリー 1（3 - 1）		
	社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	2 / 2
	評価項目 1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点（〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
	●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している。	○非該当
	サブカテゴリー 2（3 - 2）		
	利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4 / 4
	評価項目 1 利用者の意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点（〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当

●あり ○なし	2. 利用者の意向（意見・要望・苦情）に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
評価項目 2 虐待に対し組織的な防振対策と対応している 評点（〇〇）		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリ 3（3 - 3）		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 5 / 5
評価項目 1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点（〇〇）		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当
評価項目 2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点（〇〇〇）		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク（事業者連絡会、施設長会など）に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当
カテゴリ 3 の講評		
<u>人権に関する研修やチェックリストを活用し、保育者として守るべきことを確認しています</u> 設置法人作成の就業規則や足立区保育の質ガイドライン等で子どもとの関わりや保護者への対応、保育を行う職員としての基本行動、個人情報保護など社会人・保育者として守るべきことを周知、確認しています。また「乳幼児の人権」、「乳幼児の子どもの人権を守り・育む」などさまざまな園内外研修を通じて、理解を深めています。足立区保育ガイドラインのチェックリストを活用して、職員全員が確認できるようにし、日々の保育で実践を促しています。		
<u>保護者とのコミュニケーションを大切にして虐待の早期発見や予防に努めています</u> 虐待対応マニュアルが整備されており、発生のポイント、虐待が疑われた場合の対応、チェックシート記載、通報・連絡先など各段階に分かれて記載されています。マニュアルは職員全員に配布され、虐待の定義や対応方法を周知するとともに、虐待に関わる研修に参加することにより理解を深めています。園では、日ごろより保護者とのコミュニケーションを大切にして虐待の早期発見や予防に努めています。もし、子どもに不明なあざや傷があった場合には、法人本部や児童相談所や「足立区子ども支援センターげんき」と連携して対応するようにしています。		

4	カテゴリー 4		
	リスクマネジメント		
	サブカテゴリー 1 (4 - 1)		
	リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 4 / 5
	評価項目 1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる 評点 (○○○○●)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク (事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など) を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
	●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
	○あり ●なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画 (BCP) を策定している	○非該当
	●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当	
サブカテゴリー 2 (4 - 2)			
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 4 / 4	
評価項目 1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている 評点 (○○○○)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員 (実習生やボランティアを含む) が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当	
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	○非該当	
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当	
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当	
カテゴリー4の講評			
<u>深刻なケースに備えた事業継続計画 (BCP) の策定を期待します</u> 「事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」や各種マニュアルが整備され、必要なリスクマネジメントの対策を講じる仕組みがあります。危機管理マニュアルには、地震発生時の対応、火災、その他の自然災害、感染症等について詳細に策定され、定期的な防災訓練等行っています。しかし深刻なケースに備えた事業継続計画 (BCP) は策定されておらず、現在作成中です。初動対応、重要業務、応急対応、復旧対応など、子どもと保護者に安定的なサービス提供をするために、事業継続計画 (BCP) の策定を期待します。			
<u>文書管理の規程に基づき管理を行い、適切な利用に努めています</u> 文書管理に準じ「保育園文書 (保存年限) 」として、運営・基本方針・就業規則・保育状況・災害対策・食事の提供や各種マニュアルなどが作成されており、職員が必要な時にいつでも閲覧できるように管理されている。また園が保有している機密性の高い情報は、事務室で施錠して保管しています。個人情報の取り扱いは、入職時に職員に説明し、個人情報については、入園時に重要事項説明書で保護者に説明し、子どもの写真を掲載すること等、承諾を得ています。			

5	カテゴリー 5		
	職員と組織の能力向上		
	サブカテゴリー 1 (5 - 1)		
	事業所が目指している経営・サービスを実現する 人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 1 1 / 1 2
	評価項目 1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている 評点 (○ ○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
	評価項目 2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している 評点 (○ ●)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望 (キャリアパス) が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
	○あり ●なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望 (キャリアパス) と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当
	評価項目 3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる 評点 (○ ○ ○ ○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
	●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成 (研修) 計画を策定している	○非該当
	●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成 (研修) 計画へ反映している	○非該当
	●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当
	評価項目 4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる 評点 (○ ○ ○ ○)		
	評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇 (賃金・昇進・昇格等) ・称賛などを連動させている	○非該当	
●あり ○なし	2. 就業状況 (勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど) を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当	
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当	
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当	
サブカテゴリー 2 (5 - 2)			
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 3 / 3	

	評価項目 1		
	組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点 (○○○)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
	●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
	●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当
	カテゴリー5の講評		
	<u>園の理念に基づく長期的なキャリアパスとそれに応じた人材育成計画の策定を期待します</u> 園が求める人材確保に向けて、アットホームな小規模保育所の状況等も踏まえ、設置法人の園長会として学校訪問を行うなど次代の保育を担う人材確保に努めています。また職種や階層別の役割と責任および研修計画について整理され取り組んでいます。各々職員が将来を見通すことができるよう職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）に関して、職員の理解が深まるようにさらに取り組むとともに、キャリアパスと連動した人材育成計画の策定がもめられており、今後の取り組みに期待します。		
	<u>勤務形態に関わらず、さまざまな研修に参加できるよう配慮しています</u> 職員の資質、保育技術の向上のため、設置法人内研修、園内研修のほか区や保健所等主催の外部研修に、常勤職員・非常勤職員に関わらず積極的に参加できるよう配慮しています。園長は、年度初めに受講したい研修について職員の意向も確認しながら、それぞれ経験等も考慮し研修計画を作成し研修に参加させています。園として継続して取り組んでいる発達支援見受け入れに関する研修参加や療育現場の見学等も行い、職員の保育スキルの向上につなげています。		
	<u>研修成果のほか職員相互の気づきや工夫など園全体として共有していくことを期待します</u> 職員一人ひとりが学んだ研修内容は、研修報告書として提出され、職員はいつでも閲覧できるよう共有化されています。しかし研修の報告内容のほか、職員相互の気づきや保育実践での良かった点など園全体として共有していくことについて、園として不十分と考えています。一方で職員自己評価における「やる気と働きがい向上への取り組み」では十分とはいえない結果となりました。園の理念・方針を実現するための取り組みなどを職員全員で行うことで意識の共有と一体化につなげ、やる気と働きがいのさらなる向上を目指し、取り組まれることを期待します。		
7	カテゴリー7		
	事業所の重要課題に対する組織的な活動		
	サブカテゴリー1（7-1）		
	事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている		
	評価項目 1		
	事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その1）		
	前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）		
	園では、発達支援児の受け入れを園の使命と考えており、発達に課題のあると思われる子どもの受け入れを積極的に行い、入園を希望する園児に対してできる限り受け入れ体制の整備を行ってきました。平成29年度から小規模保育事業にも発達支援制度の適用がなされ、受け入れにあたり基準となる職員数の確保が必要なため、非常勤職員の採用とともに常勤職員の確保に向け、人材紹介会社等も利用して確保に努めてきました。受け入れた0歳児および2歳児の発達支援児2名の保育にあたり、フルタイムの非常勤職員1名と短時間の非常勤職員1名を配置することができ、受け入れ体制の整備を行いました。また発達支援児に関する研修に参加したり、療育現場の見学等も行い、職員の保育スキルの向上につなげています。		

目標の設定と 取り組み	●具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	●目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む） ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	●次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目 1 で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
引き続き、発達に課題のあると思われる子どもの受け入れについて園として取り組んでいます。非常勤職員に限りませんが退職等に伴う減員になることも見据えて、常勤職員の採用も合わせて進めており、年度途中ではありますが平成30年度秋より常勤職員1名の採用することができました。園では、発達支援の子どもを受け入れられる保育園としての体制整備を継続して行っていきたいと考えています。人的配慮をしながら、その子どものクラスで日々保育を行っています。子ども同士の関わりの場面を大切に与え、発展させていくことが成長につながっていくと園では考えています。引き続き、園の使命として継続した取り組みが行われることを期待します。	
評価項目 2	
事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その2）	
前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）	
園では、区や保健所主催の外部研修など多くの研修に参加する中で必要性を再認識した子どもが主体的に遊べる環境構成についての学びと実践について、力を入れて取り組んできました。外部研修の参加とともに、「足立区保育の質ガイドライン」を園として学んだり、他園の環境構成を学ぶため見学を行ったりすることにより理解を深め、実践しています。クラスごとのコーナーに発達段階に応じた子どもの感覚機能や認知機能、運動機能、社会性の発達などについて考慮するだけではなく、手作りおもちゃを通して人と人との触れ合いや情緒的な感情を育む玩具を配置しています。年齢に合わせて環境設定が行われて、環境設定の見直しも年に4回行われています。ままごとコーナー、絵本コーナーなど並べるだけではなく、遊びが発展する空間づくりの視点をもてるようになったと園では感じています。	
目標の設定と 取り組み	●具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	●目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む） ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	●次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目 2 で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
引き続き、小規模保育園で限られたスペース・職員数等の中、子どもが主体的に遊べる環境構成を考え工夫し、「子ども	

もの興味の力。いっぱい遊ぼう。好きな遊びをとことんやってみよう」の保育方針の実現に向けて取り組んでいます。絵本は表紙が見やすい「面差しの棚」に置かれ、子どもたちの興味や発達を見極め入れ替えて、常に好奇心を刺激するよう配慮しています。手作りおもちゃを通じて人と人との触れ合いや情緒的な感情を育む玩具が多く配置しており、ごっこ遊びや見立て遊びには、ままごとコーナーがあり、手作りの台所セットやテーブルが置かれ、集団で育ち合うことのできる場を設定してあり、子どもがペイントした手作りのお家は秘密の隠れ家となっています。日常の保育を通して子どもの生活や遊びが豊かに展開されるような工夫について、職員自己評価の結果では、職員のほぼ全員ができていると認識しており、取り組みの成果がうかがえます。また利用者調査（保護者アンケート）の結果でも、園での子どもの活動に関する保護者の満足度は高いものとなっています。

〔サービス分析：小規模保育事業〕

Ⅱ サービス提供のプロセス項目（カテゴリー 6-1～3、6-5～6）

No	共通評価項目		
1	サブカテゴリー 1		
	サービス情報の提供		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 4 / 4
	評価項目 1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している 評点 (〇〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
	サブカテゴリー 1 の講評		
	ホームページや入園のしおりなどで利用希望者に情報提供しています 設置法人作成のホームページで保育方針、保育目標、一日の流れ、年間行事・イベント、園の概要等を紹介しています。見学者には、パンフレットおよび入園のしおりから特に伝えたい内容を抜粋して作成した「見学用のしおり」を配付し、園で大事にしていることを伝えとともに、園での1日の生活をイメージしやすいよう説明しています。園の様子や子どもたちの生き生きとした活動の様子を写真等で掲載したり、わかりやすく伝えるためさらに工夫されていくことを期待します。 利用者希望者の問い合わせや見学希望者には、園長が個別に対応しています 利用希望者からの問い合わせや見学の際は園長が個別に対応し、保育方針・保育目標や利用条件・保育内容について配付資料をもとに説明し、育児相談にも応じています。見学希望の際は、事前に電話で予約をしてもらいますが見学可能な曜日は設けずに常時対応しています。見学希望者の都合に合わせて対応していますが、子どもたちの活動の様子を見てもらいために、午睡明けの見学をお勧めしています。それぞれの希望に配慮するとともに園の保育が理解されるよう丁寧な説明・対応を心がけています。		
2	サブカテゴリー 2		
	サービスの開始・終了時の対応		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 6 / 6
	評価項目 1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている 評点 (〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
	●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当	

評価項目 2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている 評点 (〇〇〇)					
評価	標準項目				
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		○非該当		
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		○非該当		
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		○非該当		
サブカテゴリー 2 の講評					
入園前面接を行い、園の重要事項など丁寧に説明し同意を得ています サービス開始にあたり、保護者との個別面接を実施し30分から1時間かけて「重要事項説明書」に沿って丁寧に説明しています。「重要事項説明書」では、運営方針、保育目標、施設概要、毎日の保育・教育の流れ、年間保育計画、給食・アレルギー対応、健康管理、緊急時対応、非常災害の対策、苦情対応、虐待防止等について説明し、保護者の同意のサインもらっています。具体的な持ち物についてはクラス担任が丁寧に説明しています。園内掲示や設置法人ホームページなどで子どもの写真を掲載することなどについても、事前に同意書で保護者の同意を得るようにしています					
利用開始にあたっては、子どもの不安やストレス軽減に配慮しています 入園直後は保護者と連携し子どもの負担軽減に努めています。慣らし保育について丁寧に説明をしてその大切さを理解してもらい、SIDS（乳幼児突然死症候群）防止のためにも余裕を持った慣らし保育が望ましいことを説明しています。慣らし保育は1週間程度を基本として、保護者の方の勤務状況等を配慮し、時間に余裕がある方は期間を長めにする等個々に対応しています。家庭で子どもが心理的拠り所になっているぬいぐるみやタオルなどがある場合には、危険なものでない限り、園に持ち込むことを認め安心して園生活に慣れていけるよう配慮しています。					
途中退園や卒園した後も園と交流できるように呼び掛けています 途中退園や卒園した後も、園に遊びに來たり、園の行事などには気軽に参加してもらえるように呼び掛け、卒・退園児と交流が続けられるようにしています。夏祭りの行事の際には、招待ハガキを出していました。また保護者には、心配事や不安なことなどはないか声かけをして気持ちに寄り添えるようにしています。いつでも育児相談を受けられることを伝え、道で会ったら声かけたり卒園後の保護者への支援を実施しています。					
3	サブカテゴリー 3				
個別状況の記録と計画策定		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 1 2 / 1 2			
評価項目 1 定められた手順に従ってアセスメント（情報収集、分析および課題設定）を行い、 子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している 評点 (〇〇〇)					
評価	標準項目				
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している		○非該当		
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している		○非該当		
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている		○非該当		
評価項目 2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点 (〇〇〇〇〇)					
評価	標準項目				
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護（生命の保持・情緒の安定）と教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）の各領域を考慮して作成している		○非該当		
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている		○非該当		

	●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況（年齢・発達状況など）に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
	●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
	●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直している	○非該当
	評価項目 3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している 評点（〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
	●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当
	評価項目 4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有している 評点（〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当	
サブカテゴリー 3 の講評			
<u>子どもの心身状況や生活状況を把握し、記録しています</u> 子どもの心身状況や生活状況は、入園時に保護者に提出してもらった家庭状況書、生活状況書や健康記録（病歴・予防接種の記録やアレルギー）などにより把握しています。また入園後は、連絡帳、保育日誌、児童票などに記載し子どもの日々の成長を記録しています。保育日誌には、生活や遊びの活動内容とともに子どもの姿や保護者への配慮・反省を個人別に記録して子ども一人ひとりの把握に努めています。保護者の二一ズの把握は、日々の送迎時の会話や個人面談、連絡帳、アンケートで把握し、勤務状況や保育時間の変更、意向などは児童票に記録しています。			
<u>クラス担任が中心となって年間指導計画、月間指導計画、週案を作成しています</u> 平成30年度保育指針改定にともない、東京都内系列保育園の園長会が中心となって全体的な計画を作成しています。この全体的な計画を踏まえ、園長とともにクラス担任が中心となって年間指導計画、月間指導計画、週案を作成し、日々の保育を実践しています。これら計画は、カリキュラム会議で共有し、日々の子どもの姿や保護者とのやり取りなども考慮し、子どもや家庭環境の変化に応じて、園長やクラス担任とともに見直しを行っています。これら内容は、園だよりを配付し伝えています。			
<u>クラス毎の打ち合わせや職員会議で子どもの状況を職員間で共有しています</u> 子ども一人ひとりに関する情報は、児童票に記録し、一人ひとりファイリングしています。保護者とのやり取りで子どもの変化などを把握した場合は、クラス担任が中心となって計画を見直しています。毎月のクラス毎の打ち合わせのほか、職員会議を行う際にも、クラスの状況、子どもの状況などについて話し合い共有するよう努めています。参加できない職員には園長やクラス担任から直接伝えて伝達漏れがないように努めています。家庭環境等の変化があった場合、児童票にこれら情報含めて記録するとともに、入退室連絡票にも記録し職員間で共有しています。			
5	サブカテゴリー 5		
	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5 / 5
	評価項目 1 子どものプライバシー保護を徹底している 評点（〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもに関する情報（事項）を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得	○非該当

		るようにしている	
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている		○非該当
評価項目 2			
サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している			評点 (○○○)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている		○非該当
サブカテゴリー 5 の講評			
<u>プライバシー保護について仕組みを整え、子供の羞恥心に配慮しています</u> 入園時に「個人情報に関するアンケート」をもとに保護者に説明し、ホームページや園内写真等で掲載する際の同意書をもらうとともに、大通りに面した場所柄、時に警察等からの協力要請もあり園の玄関外にある防犯カメラ映像の情報提供もあわせて説明し、同意をもらっています。子どもの羞恥心への配慮として、おむつ替えや着替えの場合は他者からの視線を少ない場所で行う、プール・水遊びの際はTシャツ着用、簡易テントの中にプールを入れる等目隠しをしたり、配慮しています。			
<u>乳幼児の子ども一人ひとりを大切に考えた保育実践を行っています</u> 食事の好き嫌いや食欲への配慮、午睡時間の個人差への配慮等、保育のさまざまな場面で子どもの思いを受け止めるよう努めています。日々の保育は、保護者の考えや気持ち、それぞれの家庭の状況、文化の違う外国籍の保護者の価値観等もふまえて、ともに子どもの成長を見守り、子どもの一人ひとりの気持ちや思いを受け止め、子どもの気持ちに寄り添いながら健やかな育ちを支える保育に努めています。園では、子供一人ひとりを尊重するということを保育の場面で検証する土壌づくりが必要と考えています。今後の取り組みに期待します。			
<u>虐待対応マニュアルが整備され、園内・園外研修を通じて理解を深めています</u> 虐待対応マニュアルが整備されており、発生のポイント、虐待が疑われた場合の対応、チェックシート記載、通報・連絡先など各段階に分かれて記載されています。マニュアルは職員全員に配布され、虐待の定義や対応方法を周知するとともに、虐待に関わる園外研修に参加や啓発文書を学習することにより理解を深めています。職員は、日々の保育の中で子どもと保護者の様子を観察し、支援が必要と思われる場合には「足立区子ども支援センターげんき」と連携して対応できるようにしています。			
6	サブカテゴリー 6		
事業所業務の標準化		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	4 / 5
評価項目 1			
手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている			評点 (○○○)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている		○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている		○非該当
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している		○非該当
評価項目 2			
サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている			評点 (○●)
評価	標準項目		

○あり ●なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
サブカテゴリー6の講評		
<u>小規模保育園として各種マニュアルが整備され、業務の共通理解と標準化を図っています</u> 0～2歳児の小規模保育園として各種手順・マニュアル（安全保育マニュアル、食物アレルギー対応マニュアル、健康マニュアル、感染症対策マニュアル、事故防止対応マニュアル、等）が整備され、保育の基本事項や手順などを明確にしています。マニュアル類はいつでも確認できるように園内保管し、わからないことが起きた時は園長や主任に相談し助言も受けたり、職員同士で再確認しています。		
<u>園で作成整備しているマニュアルの定期的な点検・見直しが期待されます</u> 設置法人の園長会として作成整備しているマニュアルと、園毎で作成整備しているマニュアルがあります。嘔吐処理マニュアルは、日々の保育実践や研修参加を通じて、園で検討し毎年見直しています。マニュアルの見直しは、設置法人の園長会にて基本的に1年毎見直し・検討が行われ、改定した内容は職員に周知しています。しかし、園としては特に改変の時期や見直し基準を定められておらず、マニュアル活用に向けた取り組み含め、設置法人と調整しながらルールを定める等、今後の取り組みに期待します。		

III サービスの実施項目（カテゴリー6-4）

サブカテゴリ-4			
サービスの実施項目		サブカテゴリ-毎の 標準項目実施状況 3 4 / 3 4	
1	評価項目 1 子ども一人ひとりの発達状態に応じた保育を行っている 評点 (○○○○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当
	●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当
	●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども（障害のある子どもを含む）の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当
	●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル（けんか・かみつき等）に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当
	評価項目 1 の講評		
	<u>子どもの個別配慮を重要なものと位置づけて、計画時に活発に話し合いが行われています</u> 子どもの生活の様子や発達過程は、保護者との個人面談や送迎時の会話、個人記録や毎月の発達チェックリストで把握し、月ごとに個別計画の反省と評価し、子ども一人ひとりの個別の配慮を重要なものと位置づけて計画時には重点的に話し合いをして情報を共有し、保育計画に反映し保育を行っています。玩具や環境設定の変更も年4回実施して子どもが主体的に活動できるようしています。0歳から2歳児までの小規模保育所の利点でもあるアットホームな雰囲気の中でゆったりと保育が行われ、外国籍の子どもは自然に友達の輪に溶け込めるようにしています。		
	<u>手作りのおもちゃが手に取りやすい位置に置かれ、遊びこめる空間の配慮がされています</u> ワンフロアを衝立て仕切って0歳から2歳児クラスが分けられている構造になっているため、少人数ながら子ども同士の関わりが多くなっており、1歳と2歳時は朝の時間とおやつの時間は一緒に過ごし、散歩は全クラス一緒に出かける等、異年齢の保育が日常生活の中で自然に展開され共に育ち合っています。子どもの遊びの環境は、クラスごとのコーナーに発達段階に応じた子どもの感覚機能や認知機能、運動機能、社会性の発達などについて考慮するだけでなく、手作りおもちゃを通して人と人との触れ合いや情緒的な感情を育む玩具が配置されています。		
<u>子どもと保護者、保育者が共に療育センターで学んだことが支援に活かされています</u> 子ども同士のトラブルについては、子どもの気持ちを受けとめ、年齢に応じて好ましい行為のモデルを示したり促したりしています。特別な配慮が必要な子どもの保育にあたっては、子ども同士の関わりが大切と捉え発展させていくことが成長につながると考えており、人的配慮をしながら、特別な配慮が必要な子どもと保護者、保育者が共に療育センターで学んでいます。学んだことの一つとして「支援の助けとなる遊具」がありますが、実際に遊具が手作りで作成され、学んだことが実際に支援に活かされています。			
2	評価項目 2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている 評点 (○○○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
	●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助	○非該当

		している	
●あり ○なし	3. 休息（昼寝を含む）の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		○非該当
評価項目2の講評			
<u>登降園時以外にも職員間で工夫し保護者とコミュニケーションが取れるようにしています</u> 保護者との連絡には連絡帳を使用しており、食事・睡眠・排泄・体温、家庭での様子や園での様子を記載していますが、登降園時は、連絡帳の活用だけでなくその日の遊びの様子や体調等を直接保護者に伝えることを大事にしています。子どもの引渡し場所が玄関のみで時間帯が重なったりしてゆっくり園での様子を伝えられない場合は、職員間で工夫をして必要な時に保護者とコミュニケーションが取れるように配慮しています。外国籍の保護者には翻訳アプリを使用したり、簡単な英語で会話をして子どもの遊びの様子や体調等を伝えるようにしています。			
<u>子どもが楽しみながらトイレトレーニングができるよう声掛けやアドバイスをしています</u> 基本的な生活習慣については、保育園での取り組みや取り組んで行きたいことを保護者に伝え、保護者には家庭での生活習慣や様子を確認して、連携しながら一人ひとりの発達状況に応じて対応しています。トイレトレーニングでは、子どもが楽しみながら挑戦できるように声掛けやアドバイスを行って、保護者にも「楽しみながらやっていきましょう」と促しています。食事後の歯磨きや散歩から帰ってきてからのうがいの習慣が身につくように援助しています。			
<u>子ども一人ひとりの生活リズムや体調に応じて、休息やお昼寝を調節しています</u> 朝の保護者からの話や連絡帳から家庭での睡眠時間を把握して、一人ひとりの生活リズムや体調に合わせて休息や午睡時間を調節しています。午睡では、他の子どもより入眠時間が遅くなる子や、遊び足りない子ども、目覚めが早かったりする子へは、スペースの確保がされており保育者のそばで安心して静かに待てるように個々に寄り添って対応しています。			
3	評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している 評点（○○○○○○）		
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている		○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている		○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している		○非該当
評価項目3の講評			
<u>異年齢での散歩や戸外活動を積極的に取り入れて、五感を豊かにする保育を行っています</u> 園庭はありませんが、周辺に複数の公園があり、公園ごとのお散歩マップが作成されて、週案を決めて目的に応じて公園を選びお散歩に行き、空や風、木や花を感じられる保育、四季を五感で感じられる保育を行っています。近くの区役所の銀杏並木に銀杏拾いに行ったり、消防署で消防見学をしたり、公園に虫探しやどんぐり拾いに行きますが、どんぐりは種類分けをしてリストにして配布を行いました。小規模保育のため0歳児から2歳児と一緒に散歩に出かけていますが、異年齢保育と小規模保育所ならではのゆったりとした環境の中での保育が行われています。			
<u>1・2歳児のリトミックや体操等を、0歳児が隣のクラスから見て感じて楽しんでいます</u> 絵本の読み聞かせやペープサート（ウチワ型紙人形劇）を通して言語表現が豊かになるように努めており、子どもと保			

	育者との日常の関わりの中から、言葉を伝え伝わる喜び、共感する楽しさを感じ言語の発達の基礎を培っています。音楽に合わせての身体表現や楽器遊びでは、クラス間が間仕切りで区切られていて壁がないので、1・2歳の取り組みを0歳児も隣で見て聞いて感じて楽しんでいます。2歳児の絵画や制作の表現活動では、各自の作品が貼られる場所が毎回決められており、保護者が玄関から鑑賞できるように配慮されています。		
	<u>子どもが興味・関心を持てるように、年齢別に遊びの空間を充実させています</u> 子どもが興味・関心を持って様々な体験ができるように、玩具や教材は子どもが自由に手に取りやすい場所に設置され、年齢に合わせて環境設定が行われて、年に4回玩具や環境設定の見直しが行われています。絵本は表紙が見やすい「面差しの棚」に置かれ、子どもたちの興味や発達を見極め入れ替え、常に好奇心を刺激するよう配慮し、ごっこ遊びや見立て遊びには、ままごとコーナーがあり、手作りの台所セットやテーブルが置かれ、集団で育ち合うことのできる場を設定しており、子どもたちがペイントした手作りのお家は秘密の隠れ家となっています。		
4	評価項目 4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している 評点 (○○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
	●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
	●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
	評価項目 4 の講評		
	<u>四季折々の行事に参加して楽しみを感じ、日常の保育に潤いがもたらされています</u> 毎月のお誕生会や七夕まつり、お正月遊び、豆まき会、ひなまつり、2歳児の遠足ではバスに乗りひまわり畑に行く等年間のさまざまな季節の行事を通して、四季の変化を感じ心豊かにし、日本の伝統文化やならわしを学び、日常の保育に変化と潤いがもたらされています。保護者参加の行事である運動会や夏祭りでは、子どものお友達とのつながりを見て頂いたり、保護者が自分の子どもの成長を感じるだけでなく、0歳児の保護者には3年間の子どもの成長の見通しも感じて頂くことができます。また、保護者間の交流にもなっています。		
	<u>行事前に保護者に色々と協力をして頂き、子どもの意欲を引き出すようにしています</u> 年間行事や園便りで行事予定を掲載し、保護者にお知らせして保護者が参加の予定を立てやすいようにしています。七夕が近づくと短冊を保護者に書いて頂いたり、クリスマスツリーの飾り付けを一緒にしたり、クリスマスの本を玄関に置いて保護者にも見て頂くようにしたりすることで、家庭でも話題に上がり、親子のコミュニケーションが増え、子どもの行事への期待感や意欲が高まってきています。保護者参加の行事では終了後にアンケートを実施していますが、成果を次年度以降に活かす為の体系的な記録が取れてないのでこれからの取り組みが期待されます。		
5	評価項目 5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている 評点 (○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
	●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮	○非該当

	をしている																
評価項目 5 の講評																	
<u>延長保育活動の保育計画を作っていきたいと考えており今後の取り組みが期待されます</u> 朝夕の合同保育や延長保育で保育時間が長い子どもが安心して過ごせるように、少人数の利点を生かしゆったりとした雰囲気と環境の中での保育を行うようにしています。延長保育時は、子どもの年齢や発達を考えながら保育のスペース確保しながら保育を行ない、静と動の空間を作ったりコーナー等で子どもが好きな遊びができるように配慮しています。延長保育時間帯の活動について夕方保育計画を作っていきたいと考えており、これからの取り組みが期待されます。																	
<u>異年齢保育の機会が多いので、延長保育への移行もスムーズに行われています</u> 0歳から2歳までの小規模保育所のため、散歩等の戸外活動や、朝夕の合同保育、延長保育において日常的に自然な流れの中で異年齢保育が行われているので、職員間の情報の共有化が図られており、子どもと職員のつながりも強く、延長保育への移行もスムーズに行われ家庭的な雰囲気の中で子どもが居心地の良い時間を過ごしています。申し送り事項は記録化されており、保護者に伝えられるようになっており、次の朝には担任に申し送りがされています。																	
6	評価項目 6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している 評点 (〇〇〇〇) <table> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>3. 子どもの体調（食物アレルギーを含む）や文化の違いに応じた食事を提供している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>4. 食についての関心を深めるための取り組み（食材の栽培や子どもの調理活動等）を行っている</td><td>○非該当</td></tr> </table>		評価	標準項目		●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当	●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当	●あり ○なし	3. 子どもの体調（食物アレルギーを含む）や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当	●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み（食材の栽培や子どもの調理活動等）を行っている	○非該当
評価	標準項目																
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当															
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当															
●あり ○なし	3. 子どもの体調（食物アレルギーを含む）や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当															
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み（食材の栽培や子どもの調理活動等）を行っている	○非該当															
評価項目 6 の講評																	
<u>食事は職員が担当制で付くことにより、子どもが落ち着いた環境で食事をとれています</u> 設置法人では食べることの大切さ、給食を通して皆で食べることの楽しさを感じていくことで、子どもたちが「食」に興味を持ち、感謝する心を育むことも給食の大きな役割と考えています。保育園での食事は、0歳児と1歳児は担当制で職員がついています。子どもの好き嫌いや食べられる量を把握している担当の職員がつくことで、安心して落ち着いた環境で食事が取れるようになっていきます。また、2歳児は3月にイチゴ狩りバス遠足が行われており、イチゴの色や香り、触感、味覚等五感を使って楽しみながら食育に取り組んでいます。																	
<u>食物アレルギー対応の食事は保護者と話し、保護者の給食参加も実施しています</u> 食物アレルギーへの対応として、アレルギー対応マニュアルが整備されており、医師の診断書・指示書を基に保護者と話しをしてアレルギー対応食品実施申請書に記載して頂いています。今年から保護者の給食参加を始めましたが、好き嫌いのある子どもの保護者が参加され、「食事の内容や食事の誘導の仕方等参考になりました」との声がありました。また、調理師は、献立の塩分摂取量を守りながら、食材のうまみを引き出す調理を行なっておいしく食べることへの工夫をしています。																	
<u>給食担当者の意識・技術向上に向け、法人の栄養士が月1回巡回・指導を行っています</u> 四季折々の行事には行事食を取り入れ、旬の野菜や果物、魚も取り入れ食べ物の持ち味を活かし季節感を感じられる献立を法人の栄養士が計画し、薄味の手作りの給食を提供しています。園長会では食材会社と毎月給食検討会を実施して																	

</

ています。就労時間等による急な登園や降園時間の変更はできる限り対応しています。送迎時の短い時間も必要なことだけでなく、様々な話や相談等から保護者との関係が深まるように努めており、相談内容によって園長につなげています。

行事の中で、保護者同士が同じことを楽しんでやることで親近感が深まっています

0歳から2歳児の小規模保育所ながら、保護者同士が交流できる行事として運動会や夏祭り会を実施しています。運動会では、お知らせのお便りにみどころ集を掲載して、自分の子どもの成長の振り返りだけでなく、0歳児の保護者には3年間の子どもの成長の見通しも感じて頂けるようにしています。運動会の行事には保護者の競技が取り入れられており、同じことを楽しんでやることで普段なかなかお会いすることのできない保護者同士の距離が縮まり親近感が深まっています。

保育園で日常の活動を通して子どもの発達や育児について理解する取り組みを始めました

保護者と保育園が子どもの発達や育児について話しあえる取り組みとして、園では秋と年度末に2回個人面談を行っています。年度末の面談は、殆どの保護者と面談ができています。今年からは運動会や夏祭り会等の行事参加だけでなく、日常の活動も体験して頂こうと、給食参加を開始しました。また、園全体の懇談会やクラス懇談会について保護者にアンケートを取りましたが、クラス懇談会の希望があり来年度実施する予定です。また、保護者同士の交流の大切さについて園だよりでも発信しています。

9

評価項目 9

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点 (○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当

評価項目 9 の講評

公園や区役所、消防署等地域資源を活用して多様な体験や交流ができるようにしています

園は園庭がないため、毎日0～2歳児クラスみんなでいろいろな公園に出かけ遊んでいます。天気の良い日は毎日散歩に出掛け、雨あがりも児童館に出掛けたりしています。消防署での消防見学、区役所に飾られるひな人形を見に行き写真撮影したりするなど、さまざまな地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができる機会を設けています。

子どもが、地域の方々と交流できる機会を持てる取り組みが期待されます

小規模保育所かつ職員数が限られた状況ですが、夏祭り会や運動会は保護者に限らず、祖父母、兄弟、保育園に入所希望している友人が子ども連れで参加しています。保育園の周辺は商店街がなく地域行事へ参加する機会も少ないですが、多くの方に地域の中で育つ子どもたちの様子を見てもらい、地域の大人と交流できる機会を持てるような行事ができないか検討しています。保育園の近くに新しく保育園ができておりその保育園との交流や、ハロウィンの時に近くのデイサービスへお願いして給食を配って頂く等検討しており、これからの取り組みが期待されます。

〔事業者が特に力を入れている取り組み：小規模保育事業〕

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	毎日散歩に出かけ、健康増進に向け積極的な取り組みを行っています	
内容①	天気の良い日は0～2歳児クラスみんなで毎日いろいろな公園に出かけ遊んでいます。周囲には様々な公園が点在しており、その時々により目的に応じて行く場所を変えて、遊具のない広場だけの公園にも出かけ鬼ごっこやかかけっこなど思いっきり走り回ったりしています。雨あがりは、近隣の見童館にも遊びに出かけています。公園で行ったどんぐり拾いでは、どんぐりの種類別にリストにしてきれいにまとめて配付を行いました。健康増進に向け積極的に取り組み、元気に遊び、自然との関わりを深め豊かな感性を培っています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目		
タイトル②		
内容②		

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目		
タイトル③		
内容③		

〔全体の評価講評：小規模保育事業〕

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子どもが興味・関心を持てるように年齢別に遊びの空間が考えてあり、手作りの玩具や子どもがペインティングした隠れ家等が置かれています
	内容	子どもが興味・関心を持って様々な体験ができるように、玩具や教材は子どもが自由に手に取りやすい場所に設置され、年齢に合わせて環境設定が行われており、環境設定の見直しも年に4回行われています。絵本は表紙が見やすい「面差しの棚」に置かれ、子どもたちの興味や発達を見極め入れ替えて、常に好奇心を刺激するよう配慮しています。ごっこ遊びや見立て遊びには、ままごとコーナーがあり、手作りの台所セットやテーブルが置かれ、集団で育ち合うことのできる場を設定してあり、子どもがペイントした手作りのお家は秘密の隠れ家となっています。
2	タイトル	発達支援児の受け入れのための体制整備を行い、発達支援児に関する保育スキル向上へ取り組んでいます
	内容	発達支援児の受け入れは園の使命と考え、入園を希望する園児に対してできる限り受け入れ体制の整備を行っています。年2回程度、作業療法士や臨床発達心理士が園に来て、子どもたちの遊んでいる様子を見て、日常の発達支援児の保育におけるアドバイスをもらっています。体を保持する筋力が少ない子どもに対して、足の筋力を鍛えるための「ふうせんマット」、足の感覚を鍛えるための「ザラザラマット」を作成しています。発達支援児に関する研修に参加したり、療育現場の見学等も行い、職員の保育スキルの向上につなげ実際の保育に活かされています。
3	タイトル	運動会や夏祭り会等の行事を通して、保護者同士が同じことを楽しんでやることで距離が縮まり親近感が深まっています
	内容	0歳から2歳児の小規模保育所ながら、保護者同士や祖父母、友人が交流できる行事として運動会や夏祭り会を実施しています。運動会をお知らせするお便りに「みどころ集」を掲載して、自分の子どもの成長の振り返りだけでなく、0歳児の保護者には3年間の子どもの成長の見通しも感じて頂けるようにしています。運動会の行事には保護者の競技が取り入れられており、同じこと楽しんでやることで普段なかなかお会いすることのできない保護者同士の距離が縮まり、親近感が深まっています。今年から日常の活動も体験して頂く為、給食参加も開始しました。

No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	地域資源を活用し多様な体験や交流を行っていますが、子どもが地域の方々と交流できる機会が少なく、これからの取り組みが期待されます
	内容	小規模保育所かつ職員数が限られた状況ですが、夏祭り会や運動会は保護者に限らず、祖父母、親戚、兄弟、保育園に入所希望している友人が子供連れで参加されています。しかし、保育園の周りには商店街がなくマンションが立ち並び地域行事へ参加する機会がなかなか無く、地域行事への参加や交流を通して子どもたちの様子を見てもらったり、職員以外の人との交流する機会が少なく、今後の課題と認識しています。近くに新しくできた保育園との交流や、近くのデイサービスとの交流等検討しており、これからの取り組みが期待されます。
2	タイトル	災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備えて、事業継続計画（BCP）を策定されることを期待します
	内容	「事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」や各種マニュアルが整備され、必要なリスクマネジメントの対策を講じる仕組みがあります。危機管理マニュアルには、大地震発生時の対応、火災、その他の自然災害、感染症等について詳細に策定され、定期的な防災訓練等行っています。しかし深刻なケースに備えた事業継続計画（BCP）は策定されておらず、現在作成中です。初動対応、重要業務、応急対応、復旧対応など、子どもと保護者に安定的なサービス提供をするために、事業継続計画（BCP）の策定が期待されます。
3	タイトル	研修成果のほか、職員相互の気づきや工夫など園全体として共有していくことを期待します
	内容	職員一人ひとりが学んだ研修内容は、研修報告書として提出され、職員はいつでも閲覧できるよう共有化されています。しかし研修の報告内容のほか、職員相互の気づきや保育実践での良かった点など園全体として共有していくことについて、園として不十分と考えています。一方で職員自己評価における「やる気と働きがい向上への取り組み」では十分とはいえない結果となりました。園の理念・方針を実現するための取り組みなどを職員全員で行うことで意識の共有と一体化につなげ、やる気と働きがいのさらなる向上を目指し、取り組まれることを期待します。